昭和十二年四月二十二日　日本交通勞働新聞　第七十號　(一)

# 日本交通勞働新聞

每月二回發行
編輯兼發行人　中島喜三郎
東京市京橋區築地二ノ八
發行所　日本交通勞働組合
日本交通勞働新聞社
振替東京八八七〇番
定價　一部五錢

# 對市電上闘爭版

## 要求書は提出され 最後通牒放たる！

### 決戰近し！準備はよいか

嘆願書が提出されて最早一ケ月に垂んとする、この間にも我々の生活は一日一刻と壓迫され窮乏化して行く我々はこれ以上『誠意』『善處』の抽象的言辭に我慢は出來ない、**コンニヤク問答は無用だ！二十四日までに二割引上實施の具體案の回答をすればよし、てなければ宣戰布告だ！**　決戰だ！　この固き決意の下に別項の要求書を二十日市當局に叩きつけた！　最後通諜は發せられたのだ！　のつびきならぬ最後通牒に對してさへ尙且大久保助役は『誠意を以つて善處』を繰返し、二十四日には回答出來るかどうか判らぬとぬかしてゐる、我々は言葉では信用出來ない、**如何に耳ざはりがよくとも言葉では空腹が充たされない、繪に畫いた餅はいらないから早く實施の具體案を發表せよ！**

**全市五萬の市從業員、登錄勞働者諸君！**

不誠意なる當局を動かして要求を貫徹するものは結局我々の力だ、闘爭だ！　對市電上闘爭同盟首腦部に於いては闘爭力を百パーセント有效に發揮する爲、次々に行動指令を發するぞ！

**各地區、各職場は如何なる指令にも應じ得るやふぬかりなき準備と決意を固めよ！**

**干渉壓迫なにものぞ！**

**いざ全市五萬大衆の決死の戰ひへ！**

## 千餘の大衆 市役所に殺倒

### 當局狼狽色を失ふ！

四月二十日要求書提出だと聞いて、塚の明かない當局の態度に業を煮やしてゐた數千大衆は續々と市役所へ殺倒し、午前十一時市役所の廻下と言ふ廻下は婦人團體を交へた市電從業員を始め、カーキ一色の土木局、道路局從業員や、登錄勞働者等に依つて埋つくされ佐々木（東交）橋本（市從）外十五名の代表が市長大久保助役に會見せんとするや市助役に會見せんとするや市助役は會見せんとするや市助役は會見せんとするや市助役は